

令和7年度 佐倉市立白銀小学校 学校経営の概略

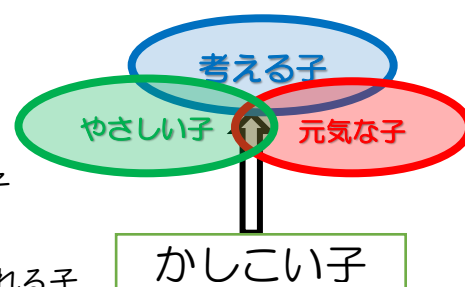
Ⅰ 学校教育目標〔どんな子どもたちを育てるかⅠ〕

「自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成」～かしこい子の育成～

変化の激しい現代社会において、生き抜く力をどうつけるか。子どもたちの10年先の姿をイメージし、白銀小学校で過ごす子どもたち一人ひとりの人生の礎につながるように、ここに学校教育目標を掲げる。私たちは子どもたちの健やかな成長を全力で支援する教師集団として、本目標の具現化に真摯に取り組んでいくことを誓う。

2 目指す白銀っ子像 “かしこい子” 〔どんな子どもたちを育てるかⅡ〕

「かしこい子」とは、「考える子」「やさしい子」「元気な子」の3つをバランスよく身につけた子の姿を象徴する。
（図の3つの輪が重なった部分）



〔考える子〕 よく聞き、よく読み、よく書き、よく話して伝えあえる子

〔やさしい子〕 相手の立場に立って思いやり、行動できる子

〔元気な子〕 よく食べ、よく運動し、健康で目標に向かって頑張れる子

3 目指す白銀小学校像 〔どんな学校にしたいのか〕

- ・子どもたちが生き生きと学び、笑顔あふれる学校
- ・安心、安全で保護者が子どもを通わせたい学校
- ・「地域コミュニティスクール」の機能を生かした保護者、地域との持続可能な連携を推進する学校

4 目指す白銀小学校の教師像 〔全教職員に必要な、仕事に向き合う基本姿勢は何か〕

- ・白銀小の全ての子どもを大切にし、支援する教師
- ・教育者としての誇りと情熱をもち学び続ける教師
- ・人間としての魅力を生涯にわたって高める教師

5 基本方針

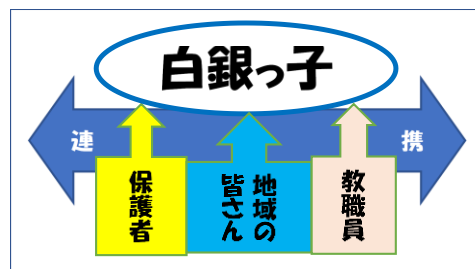
〔経営としての力の入れどころや留意点は何か 大切にしていこう 考え方・姿勢〕

- （1）子どもたちに現代社会を生き抜く力をつけるため、「子どものためになるかどうか」を基本とすることと併せ、「“当たり前”の見直し」を大切にし、教職員の Well Being を踏まえて判断基準としていく。
- （2）ポストコロナ、ウィズコロナの時代を見据え、安全、安心を担保しつつ、白銀小学校の過去・現在と未来を融合させた「新しい白銀スタンダード」を構築・実践していく。
- （3）「地域コミュニティスクール」の機能を生かし、「持続可能な連携」の在り方を検討・構築していく。

6 経営の重点

〔学校教育目標の実現のために、どのような力の育成や態度の形成に力を入れるか〕

- (1) 確かな学力の向上
基礎的・基本的な内容の定着と学習者としての児童の能力の向上
- (2) 豊かな心の育成
道徳教育、人権教育の推進 望ましい集団活動の推進と自主的・実践的な態度の育成
- (3) 健やかな体の育成
心身の健康の推進 自分を知る力の向上
- (4) 持続可能な地域連携
“持続可能”な形による、
保護者・地域の教育力との連携



7 経営の重点に基づく実践内容 ※下線は今年度の重点事項

～「未来につながる“自分づくり 仲間づくり”」を目指して～

○本校は平成22、23年度に佐倉市から道徳教育モデル校としての指定を受け、研究を行った。その際に確立し、本校の教育活動の伝統的手立てとして、10年以上継続して取り組んでいる活動がある。今年度も継承して実践していく。(※ゴシック体が相当)

- (1) 確かな学力の向上
 - ① 主体的・対話的で深い学び
 - ・指導と評価の一体化
 - ・思考する場面を設定した授業づくり
 - ・「学びの時間」のさらなる充実
 - ・総合的な学習の時間の充実
 - ② つけたい力の明確化及びユニバーサルデザイン視点による授業づくり
 - ③ 言語活動の充実
 - ・読書活動のさらなる充実〔朝読書〕
 - ・授業の振り返りを自分の言葉で書く
 - ・**「今月の言葉」音読**
 - ④ 目的を明確にした ICT 機器の活用
 - ・タブレットの基本操作習得
 - ・全学級教科学習における利用
 - ⑤ キャリア教育の推進
 - ・キャリアパスポートの積み重ね
 - ・外部講師による啓発授業
 - ・佐倉学の実践
- (2) 豊かな心の育成
 - ① 道徳教育の充実
 - ・「道徳科」35時間完全実施
 - ・「道徳科」授業の相互参観、可能な範囲での公開
 - ・道徳科 D-19「生命の尊さ」A-4「個性の伸長」B-6「親切、思いやり」の重点的実践
 - ② 望ましい集団の形成、よりよい人間関係の構築、成功体験の充実
 - ・児童会活動
 - ・委員会活動
 - ・縦割り活動
 - ・合唱・集会活動の充実

- ③ 生徒指導の充実
・全職員による指導体制の充実 ・教育相談の充実
・規律ある生活態度の定着 ・白銀っ子しぐさの推進、周知徹底の工夫 ・立腰

- ④ 特別支援教育の充実・推進
・校内体制の充実 ・通常学級との連携強化 ・外部機関との連携 ・教職員の研修

- ⑤ いじめ防止対策の強化
・全職員による生徒指導情報連携、行動連携 ・未然防止を意識した教育実践

(3) 健やかな体の育成

- ① 体力・運動能力の向上
・年間を通じた体力作り(縄跳び) ・外遊びの推奨 ・正課体育の充実
- ② 心の健康教育の充実と保健管理の徹底
・早寝、早起き、朝ご飯 ・道徳科授業との積極的な関連(上学年を中心に)
・感染症拡大防止対策
- ③ 自校給食による食育の一層の推進
・豊かで安心、安全な給食の実施 ・食の情報発信
・食に関わる内容に係る全学年教科授業への積極的な関連

(4) 持続可能な連携

- ① 現代社会の変化を踏まえた地域コミュニティスクールの在り方についての検討
・学校運営委員会 ・保護者との情報共有、行動連携への工夫、改善
- ② 積極的な情報発信と学校評価
・マチコミメール、ホームページ、学校だよりの活用
・授業公開 ・学校行事の精選、工夫についての情報発信
・保護者、児童、職員アンケートの実施と学校関係者評価

8 子どもも教師も輝ける学校づくり ― 学校教育ができること ―

(1) 佐倉型カリキュラム・マネジメントの推進によるカリキュラム・オーバーロード課題の改善

(2) 「学校」の役割と責任の明確化

・教職員の健康管理 ・家庭の教育方針の尊重 ・最も重要なことに使う時間を確保すること